

# ジュニアリーダー認定規程

平成25年 6月23日 制 定

北海道における地域子ども会で核となって活動するリーダーを養成・確保するために、一般社団法人北海道子ども会育成連合会（以下、本会という）はこの規程に則った研修を行い、リーダーとしての資質を有する者と認めてそれぞれの履修した種別に従い、会長が認定し認定書を贈る。

## 1 リーダーの種別

区 分	年 齢	研 修 主 体
初 級	小学5 ~	各 市 町 村
中 級	中学3 ~ 高校	支 庁 地 区 + 道 子 連
上 級	高校生 ~ 青年	道 子 連 + 全 国

## 2 リーダーの認定について

- 1 認定を受ける場合は、道子連認定基準に定められた課目と単位時間を履修しなければならない。
- 2 初級については各市町村子連等が行う研修などで、別に定める所定の過程を終了した場合は当該市町村子ども会育成連絡協議会代表者の申請により、道子連は研修指導委員会において審査し認定証を交付する。
- 3 中級においては、別に定める過程を市町村及び地区子連等の研修を終了した者で、更に本会及び全国子ども会連合会の主催する研修会に参加した中から、本会の研修指導委員が審査し認定する。
- 4 他の機関・団体が実施した研修会で、道子連の基準に相当すると認められた課目及び単位時間数は振り替えることもできる。
- 5 上級認定者については本会が行う養成課程を終了し、全国子ども会連合会へ認定の申請を行う。

附 則 この規程は平成25年 4月 1日より施行する。

## 初 級

- 目 標**
- ・ 子ども会の班活動・係り活動のできるリーダーを養成
- (平易に)
- ・ 楽しい子ども会活動にするための知識、技術の習得

区分	項	目	節	時 間
理	子ども会とは	子ども会のねらい	近所の仲間と子ども会	2
			遊びと子ども会	
		子ども会のしくみ	子ども集団と育成者・指導者 日常・行事活動	
		子ども会の活動内容	子ども会のねらいと活動内容	
論	リーダーの役割	班活動、係活動	班単位の活動	3
			係・クラブ活動	
		リーダーの役割分担	ジュニアリーダーの役割	
理論の部 合計				5

実	話し合いの進め方	例会の持ち方	定例会の準備と進め方	2
			話し合いのしくみ	
	楽しい遊び	簡単なレクリエーション ゲーム・ソング 軽スポーツ	仲間作り	5
仲間作り				
体力作り				
技	記録のとり方	班ノートのとり方	記録の必要性	1
			記録のとり方、まとめ方	
安全な活動	危険の発見		危険予知トレーニング	2
			初歩的な安全対策	
実技の部 合計				10
初級 総合計				15

1単位は45分とする

## 中 級

### 目 標 (緻密に)

- ・ 子どもの会の会長・役員活動のできるリーダーを養成
- ・ リーダーシップとメンバーシップについてを習得

区分	項	目	節	時 間
理	子どもの会の運営	組織と運営	子どもの会の組織	1
			運営の基本とは	
論	子どもの会のプログラム	プログラムの立て方	プログラムとは何か	3
			望ましいプログラム	
			情報の収集と調査記録の活用	
論	リーダーの役割と任務	ジュニア・リーダーの役割	心構え、態度	2
			集団指導者とは	
			育成者・指導者との相互関係	
論	育成会と子ども会	育成会とのかかわり	育成者のとは	1
			特技指導者とは	
理 論 の 部 合 計				7

区分	項	目	節	時 間
実 技	会議の持ち方と 進め方	会議の仕方	総会・班長会議、実行委員会、班会議、係会議グループ会議	3
		司会の仕方	議題提案、協議助言まとめなどの仕方	
		記録のとり方	会議名、日時、会場、議題、参加者数、内容、反省点などの記録	
		会議の進め方・仕方	議題を決めて模擬会議をする ・ 円卓式、パネル式 ・ ・ 六六会議等 ・	
実	プログラムの実践	立案の仕方	立案の手順、役割分担、協議、まとめ、成案	4
		年間・月間プログラムの立案	前年度の反省、班の要望ねらい、回数、時期、予算	
		行事プログラムの立案	事前準備、役割分担、当日の役割進行	
		行事の反省	行事の見直し	
実	広報紙のつくり方	広報の仕方	広報の種類	5
		壁新聞の作り方	編集の手順	
			子ども会新聞作りの演習	
		インターネットの活用法	パソコンを使った広報について	

区分	項	目	節	時間
技	レクリエーションの実際	レクリエーションのねらい	レク・ゲームの意義	2
		レク・ゲームの指導	説明法と演出法と指導法	
		活動の種類	手芸と工作 ダンス 演劇 文学活動 音楽 自然探究及び野外活動 社交的行事 ゲーム スポーツ	4
	キャンプ	キャンプ技術を習得させる	6	
実	記録と反省	話し合いの記録	記録の取り方	1
		評価と反省	評価の視点とより良い活動とするために	
技	子ども会活動と安全	安全な活動とは	K Y T (危険予知トレーニング)の理解	2
	奉仕活動	ボランティア活動とは	ボランティアの意味	1
			ボランティアの条件	
ボランティアの種類				
実 技 の 部 合 計				2 8
中 級 総 合 計				3 5

1単位は60分とする

## 上 級

- 目標 ・ 単位子ども会の企画・運営を指導できるリーダーの養成  
 (高度に) ・ リーダーとしての望ましいあり方を習得

区分	項	目	節	時間
理	集団活動とは	集団活動の進め方	集団活動の意義	2
			集団の構造と機能	
			グループワーク・トレーニングの演習	
論	地域社会と子ども会	家庭と学校と地域社会	子どもの生活領域	2
			家庭と子ども会	
			学校と子ども会	
			地域社会と子ども会	
子ども会活動の安全確保	危険の予知と回避	冒険への挑戦	2	
		遊びと危険予知		
子どもの理解	子どもの理解	子どもの成長と発達	2	
		子どもの能力		
		子どもと遊び		
理論の部合計				8

区分	項	目	節	時間
実	会議の指導・助言の仕方	会議運営の方法	会議の進め方と指導方法	3
			助言の仕方について	
実	プログラムの種類とたて方	プログラム作成の技法について	プログラムの種類	4
			プログラムのたてかた	
実	指導・助言・評価の仕方	活動の評価	評価の方法	2
技	広報活動	広報の意義 広報紙(新聞)作り 電磁媒体の活用法	広報活動の必要性	4
			子ども会新聞、機関紙の発行	
			インターネットの活用等	
技	レクリエーション活動	レクリエーションの指導技法	キャンプ活動 野外活動 創作活動 スポーツ活動 文化活動	10
技	奉仕活動	豊かな人間性	社会参加	2
技	調査活動	調査の仕方	調査の方法と集計の仕方	2
子ども会活動と安全	安全活動の進め方 救急法の習得	未然に事故を防ぐために	3	
		応急手当の心得		
実技の部合計				30
1単位は90分とする				
上級総合計				38